

令和3年度 事業計画

- ◆ 万博記念公園内の一施設として、展示の質の向上や入館者の満足度向上に努め、園内の賑わい創出に貢献します。
- ◆ 不特定多数の入館者の増加に心がけ、また関連の民芸館・美術館・博物館・大学および百貨店ミュージアム等と連携を強めて民芸運動の普及啓発に努めます。
- ◆ 公益財団法人として、事業運営の安定した財政基盤を固めて、真に公益性の高い施設運営を目指します。

1. 民芸に関する公開展示事業

(1) 春季特別展

- ・ 展覧会名称：「型絵染・三代澤本寿」
- ・ 開催時期：令和3年3月6日(土)から7月13日(火)

- ・ 記念講演会①：演題：「作家が担う民芸運動の時代へ—万博の「日本民芸館」と濱田庄司—」
講師：濱田琢司氏（関西学院大学文学部教授）
日時：令和3年6月13日(日)
会場：国立民族学博物館・第5セミナー室
定員：40名（予約制）
参加費：聴講料300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）

- ・ 記念講演会②：演題：「食事（ケハレ）と民芸」
講師：土井善晴氏（料理研究家）
日時：令和3年7月4日(日)
会場：国立民族学博物館・第5セミナー室
定員：40名（予約制）
参加費：聴講料300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）

(2) 秋季特別展

- ・ 展覧会名称：「筒描き・注染」
- ・ 開催時期：令和3年9月4日(土)から12月12日(日)
- ・ 記念講演会：演題：(タイトル未定)
講師：未定
日時：令和3年10月中旬
会場：国立民族学博物館・第5セミナー室
定員：40名（予約制）
参加費：聴講料300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）

2. 民芸関連機関との連携を通じた調査研究、収集ならびにショップ事業

- (1) 春季・秋季特別展関連の民芸品を中心に窯元、出版、家具・染織・紙製作者を通じ、作品を収集し、不特定多数の入館者(ミュージアムショップのみの来場者含む)に廉価で販売。
- (2) 全国17箇所の民芸館および関連の美術館・博物館の展示会情報を不特定多数の入館者(ミュージアムショップのみの来場者含む)に提供。

3. 民芸に関する調査研究ならびに普及啓発事業

- (1) みんなげいぜみ及びワークショップ
様々な分野の指導講師による不特定多数の来館者を対象とした研修を実施することにより、民芸の基本的な知識について、普及啓発を図ることを目的として実施する。
秋季特別展の開催期間は未定。

①みんなげいぜみ

演題：「三代澤本寿 民藝のまなざしと作品の魅力をとどる」
講師：武藤美紀氏（松本市美術館学芸員）
日時：令和3年5月23日（日） 14:00～15:30
会場：国立民族学博物館・第5セミナー室
定員：40名（予約制）
参加費：300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）

②はじめての「民藝」

演題：「民藝運動とEXPO'70 -挑戦としてのパビリオン『日本民藝館』-」
講師：小野絢子（大阪日本民芸館学芸員）
日時：令和3年3月28日（日） 14:00～15:30
会場：大阪日本民芸館会議室
定員：15名（予約制）
参加費：300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）

なお、次回は秋季特別展に合わせ開催予定

③ワークショップ

演題：「染紙ワークショップ」
講師：M. Motoju会（代表：三代澤保水氏）
日時：令和3年4月25日（日） 13:00～15:30
会場：大阪日本民芸館会議室
定員：20名（予約制）
参加費：1000円

- (2) ギャラリートーク<学芸員による展示解説>

当館学芸員による、不特定多数の来館者を対象としたギャラリートークを実施することにより、開催中の展示に関し、より深く理解できるように導き、民芸の普及啓発を図ることとする。
実施は月2回を原則に、全10回を予定する。

(3) みんなげい市

関西圏を中心とした作り手による陶磁器、木漆工作品・染織の展示販売を通じ、民芸の普及啓発を図るとともに若手作り手作家を支援する。

日時：令和3年5月8日(土)、9日(日)

会場：大阪日本民芸館周辺

参加民芸作家：20名程度 令和元年の来場者は約1,650名

参加費：無料

4. 資金調達ならびに設備投資について

令和3年度において、資金調達ならびに設備投資は予定しない。